

一般社団法人奈良青年会議所 2018年度 理事長所信

～真に秀でた魅力あるまちへ～
～「心意気」溢れるリーダーとなれ～

一般社団法人奈良青年会議所
2018年度 理事長 堀川 雅嗣

【はじめに】

我々の住まう奈良は、東大寺や薬師寺などの代表的な歴史建造物が数多くあり、また生活圏内の近くに春日山原始林などの世界遺産があり、日本国中のみならず世界中から観光客が訪れる国際文化観光都市として存在しています。さらに地域の諸団体や行政による地域事業もさかんに行われており、多方面に向けた地域の魅力を広く発信しています。また奈良のまちは、様々な地域の魅力を図るランキングなどにも上位に入るほどの評価をされ、新たな小規模店舗の出店やホテル建設計画、そして大型の地域密着型の商業施設計画などが計画されており、さらに魅力あるまちへと変貌する時を迎えています。

いまこの魅力溢れる地域である奈良のまちをさらに磨きをかけ、真に秀でた魅力あるまちを目指して、運動を発信していかなくてはならないのです。我々は、地域の中心的な存在として牽引するために、何事にも積極的に取り組む気概を持った「心意気」溢れるリーダーとなり、運動に邁進しなければならないのです。

【全国大会奈良大会5周年を迎えて】

私が2006年に青年会議所に入会したその年から、全国大会奈良大会の招致活動が始まりました。入会して間もない私は、人間的にも社会的にも無知で未熟であったため、全国大会を計り知れない大きなものに感じ、ただ先輩方の背中を追いかけていただけでした。当時の私は、物事の考え方も後ろ向きで何事にも積極的に取り組む気概など持ち合わせていませんでしたが、それでも周りの先輩方は、ときには優しくときには厳しく様々な形で成長の機会を与えて下さいました。しかし、私に成長を促してくれた先輩方のお気持ちとは裏腹に、4年後、2010年に全国大会奈良大会開催が決議されたその場に私は立ち会うことはなかったのです。私は、地域の事業に目を向けて地道に運動をするべきだと考え、全国大会奈良大会の招致に邁進する奈良青年会議所に反旗を翻したのです。いま思い返してみれば、自身では抱えきれないほどの大きな大会に足が竦み、何事にもまだ後ろ向きにしか考えられない当時の自分がいたのだと痛感する次第です。

そしてその後約2年弱の間は、地域事業に参加をしつつ、遠目に青年会議所の運動を見て日々を過ごしていました。所属している意味もなくなり、そろそろ辞めようか、と思い始めた時、私を信じて奈良青年会議所に居場所を作って下さった先輩がいました。そして、2012年、私は、2年間の空白を埋めるかのごとく精一杯運動に邁進し、2013年の

全国大会奈良大会の大懇親会委員長として運動を発信する機会を得ることができました。奈良青年会議所がひとつになり、目標を達成するために日々運動に邁進しました。全国大会奈良大会は私に素晴らしい時間を与えてくれました。やり抜いた先には、自身では得ることの出来ない成長の機会、そして経験、知識だけではなく、仲間との友情、ひとりでは見ることのできない素晴らしい景色を見ることができました。この期間に得たすべてのものは、今も自身を形成する大きな人生の糧となっています。

2013年、全国大会奈良大会では、この国のはじまりの地、真に秀でた場所、まほろば、神仏と自然とが共生する奈良の地に同志を迎え入れ、日本人の美しい精神性を呼び覚まし、畏敬のこころと感謝の念が溢れる社会の実現へ向け、全国の会員に運動を発信させていただきました。多くの先輩方が、歯を食いしばり、時には涙を流し、厳しい道程を乗り越えてこられたからこそ、全国大会奈良大会が開催されたのです。全国大会奈良大会から5年を迎えた今、奈良のまちの変化を肌で感じ、当時の運動に対する気概と覚悟を呼び覚ましていただきたい。そして、運動に対する当時の熱い想いを引き継ぐために、当時の会員と現役会員との時間の共有を図ることで、真に秀でた魅力あるまちを目指す心意気を醸成するのです。

【奈良の未来へ向けて】

1300年余りの歴史あるまちとして永きに亘り存在している奈良は、神仏と自然とが共生する素晴らしいまちであり、日本のみならず世界からも多数の人々が訪れる国際文化観光都市として存在しています。歴史ある寺社仏閣・世界遺産が多数存在し、このまちが本当に素晴らしい魅力溢れる場所であるからこそ、今もなお人々が絶え間なく訪れ、日々まちが賑わっているのです。地域の事業も多種多様なものがあり、奈良のまちは本当に魅力の溢れたまちなのですが、今後もさらに永続的に地域を活性化させていくためには、若い世代が地域への愛郷心を育む事業構築が必要です。奈良青年会議所は長い歴史の中で、青少年事業を積極的に行ってきました。地域の未来を描く団体として青少年事業は不可欠であり、今後もよりさらなる事業展開を行うことが必然です。さらに先の未来を見据えた若者世代への運動を発信することで、地域の魅力を発信出来る未来の人財を育てていかななくてはならないのです。奈良青年会議所が地域のリーダーとなり、今の奈良にはない若い世代と共に学び成長する事が出来る事業を壺から創造し、真に秀でた魅力あるまちとして継続的に発展していく礎を構築します。何もないところから、新たな壺を生み出す、時代に即した地域のたからが集約された事業形態の構築で、魅力あるまちが創造されるのです。

【新たな時代を目指して】

奈良の未来を描く奈良青年会議所は、地域のリーダー的な存在として積極的かつ継続的に地域の事業に大きく関わり、常に魅力のある団体として存在してきました。我々が掲げる崇高な理念、自身では得ることの出来ないほどの成長の機会、世界へと広がる人脈、このどれもが素晴らしい団体としての素養であり、先輩から受け継がれてきたこの組織を、これからもさらに発展させ、地域からの信頼を得る団体として運動の発信を行わなくてはなりません。また、毎年行われる事業に対しても新たな気持ちで取り組むことが大切です。その気持ちを持って地域の事業に身を投じることで新しい取り組み方や新たなひととの出会いが生み出されます。地域の事業を行う中で、自身に成長の機会を生み出し、そして地域を牽引するリーダーとして成長することは、組織としての魅力を発信することにもつながり、奈良青年会議所の認知度も向上することでしょう。さらに、各会員の一経済人としての振る舞いや日々の行動、そして、一人ひとりが当事者意識を持って日々の運動に励み、地域の人々から常に信頼を得ることの出来る人財であることが大切であり、魅力的な人が自然と集まる団体となることで新たな時代を創る礎を構築することが出来るのです。奈良青年会議所は、今後も運動発信を行っていくために、新たな仲間を迎え続け、団体としての魅力を飛躍的に向上させ、運動を継承していかなければならないのです。魅力溢れる団体になれば、人は自ずと集ってくるはずです。運動を発信し続けるために、同じ時代に生き、同じ地域に住み暮らす人々を共に地域を活性化させる仲間として迎え入れることで、魅力あるまちの基盤を構築することが出来るのです。

【和の精神性溢れる組織へ】

青年会議所に入会して本当に良かった。こう素直に思えるのは決して、交友の幅の広がりや事務処理能力の向上などが理由ではないのです。私は入会した当初から、青年会議所では、自身の社業の信用を背負っていると思い行動をしてきました。信用を得ることは日々の行動の積み重ねが大切であり、自身のこの考えは入会してから一貫して変わる事のない信念です。この団体に入った日から、変わる事のない信念は、私に素晴らしい成長の機会を与えてくれたのです。青年会議所は誠実に取り組むことで自身に多大な成長を与えてくれます。先輩から引き継がれてきたこの青年会議所は、様々な知識や経験、自身の意識改革を行うことの出来る大人の学び舎なのです。そして、運動を行う中で得ることの出来る成長の機会は、この時、この瞬間でしか得ることの出来ない貴重な経験なのです。この団体に属するだけでも成長の機会を得ることが出来ますが、自身の行動により、それより先にある本当に大切な成長や出会いを得ることが出来るのです。そして、運動を通じて得たその成長はあなた自身のためだけのものではなく、その成長を自身のものとするだけでなく地域に還元していかななくてはならないのです。自身の成長を地域社会の成長へとつなげてこそ、本当の青年会議所の運動だと私は思います。地域事業への参画とそこから得ることの出来る成長を循環させてこそ、真に秀でた魅力あるまちが生み出されるのです。

【組織の中枢を担う】

現代社会において様々な人や団体が信用を失墜させるような問題を引き起こしています。こういった事例は決して遠い存在ではなく、身近にひそんでいるものであり、気がつけば自身の思いとは裏腹に問題を引き起きてしまうことがあるかもしれないのです。地域から信頼を得る組織であり続けるために、青年会議所は、決して組織を濁らせることなく運営を行っていかなくてはなりません。また、我々だけの物差しで物事を図るのではなく、公の場においても自信を持って胸を張ることの出来る信頼のある組織が必要なのです。そのためには、日々組織が社会に対しての責任のある行動をとり、財務体質の透明性をさらに高め、組織強化に務めなければならないのです。また、地域から信頼される団体として対外的な運動発信は非常に重要な部分です。青年会議所から運動の発信を公の場で対外的に発信することは、地域の信頼を得る団体として非常に重要であり、そのためには青年会議所の運動の全体を常に理解してはなりません。運動発信の際に情報の正確性を期することにより、青年会議所の地域からのさらなる信頼を勝ち得ることにつながります。地域からの信頼は常に維持し、今まで先輩が培ってこられた地域からの信頼の歴史をさらに次代へつなげ、我々の運動を未来へと紡いでいかなければならないのです。

【終わりに】

真に秀でた魅力あるまちへ、今だけを見るのではなく未来へ、常に魅力溢れる地域であり続けるために、今、精一杯運動に邁進出来ていなければ奈良の未来は描けないはず。我々が行う青年会議所運動のすべての先には、必ず地域が見えてはなりません。あなたの日々の運動は、地域に向かっていますか。自身の成長を地域へ還元し、真に秀でた魅力あるまちへ向け、共に歩みましょう。